【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公開番号】特開2011-15828(P2011-15828A)
【公開日】平成23年1月27日(2011.1.27)
【年通号数】公開・登録公報2011-004
【出願番号】特願2009-162530(P2009-162530)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　6/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　6/00　３６０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成24年4月10日(2012.4.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のモニタが直接輝度情報管理装置と接続されるか、或いは複数のモニタがネットワークまたはコンピュータを介して間接的に輝度情報管理装置と接続されたモニタ管理システムにおいて、
前記輝度情報管理装置は、
前記モニタから、モニタ型式情報と、使用時間情報と、モニタ表示品質調整に関する特性情報と、を含むモニタ調整情報を収集、またはモニタ側から提供された情報を管理し、データベースに蓄積するモニタ調整情報収集手段と、
未調整モニタに対して、前記データベースに蓄積されたモニタ調整情報に基づき当該未調整モニタのモニタ型式及び使用時間に応じた前記特性情報を適用することによりモニタ調整を行なうモニタ調整手段と、
前記モニタについての使用時間情報を参照することにより、医用画像の表示に耐えるか否かを判定する判定手段と、
を備えることを特徴とするモニタ管理システム。
【請求項２】
前記輝度情報管理装置は、更に、
前記判定手段によって、医用画像の表示に耐えないと判定されたモニタについては警告情報を提示する警告提示手段、
を備えることを特徴とする請求項１に記載のモニタ管理システム。
【請求項３】
前記モニタ調整手段は、
前記データベースに蓄積されたモニタ調整情報のうち、未調整モニタと同一型式かつ未調整モニタの仕様を基準に使用時間が一定誤差範囲内の調整済モニタの情報があるか否かを判定し、同一型式かつ使用時間が一定誤差範囲内に収まるモニタ調整情報がある場合は、そのモニタ調整情報の前記特性情報を当該未調整モニタに適用し、同一型式かつ使用時間が一定誤差範囲内に収まるモニタ調整情報がない場合は、当該未調整モニタと同一型式の調整済みモニタのモニタ調整情報に基づいて当該未調整モニタの使用時間に応じた前記特性情報を推測し、当該未調整モニタに適用することを特徴とする請求項１又は請求項２に記載のモニタ管理システム。

【請求項４】
複数のモニタに直接接続されるか、或いはネットワークまたはコンピュータを介して間接的に複数のモニタに接続される輝度情報管理装置であって、
前記モニタから、モニタ型式情報と、使用時間情報と、モニタ表示品質調整に関する特性情報と、を含むモニタ調整情報を収集し、データベースに蓄積するモニタ調整情報収集手段と、
未調整モニタに対して、前記データベースに蓄積されたモニタ調整情報に基づき当該未調整モニタのモニタ型式及び使用時間に応じた前記特性情報を適用することによりモニタ調整を行なうモニタ調整手段と、
前記モニタについての使用時間情報を参照することにより、医用画像の表示に耐えるか否かを判定する判定手段と、
を備えることを特徴とする輝度情報管理装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明は、前述した問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とすることは、複数のモニタを有するモニタ管理システムにおいて、モニタのキャリブレーション作業の負担を軽減するとともに、経年変化に対応したモニタ調整を行なうことが可能なモニタ管理システム及び輝度情報管理装置を提供することである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
前述した目的を達成するために第１の発明は、複数のモニタが直接輝度情報管理装置と接続されるか、或いは複数のモニタがネットワークまたはコンピュータを介して間接的に輝度情報管理装置と接続されたモニタ管理システムにおいて、前記輝度情報管理装置は、前記モニタから、モニタ型式情報と、使用時間情報と、モニタ表示品質調整に関する特性情報と、を含むモニタ調整情報を収集、またはモニタ側から提供された情報を管理し、データベースに蓄積するモニタ調整情報収集手段と、未調整モニタに対して、前記データベースに蓄積されたモニタ調整情報に基づき当該未調整モニタのモニタ型式及び使用時間に応じた前記特性情報を適用することによりモニタ調整を行なうモニタ調整手段と、前記モニタについての使用時間情報を参照することにより、医用画像の表示に耐えるか否かを判定する判定手段と、を備えることを特徴とするモニタ管理システムである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、第２の発明は、複数のモニタに直接接続されるか、或いはネットワークまたはコンピュータを介して間接的に複数のモニタに接続される輝度情報管理装置であって、前記モニタから、モニタ型式情報と、使用時間情報と、モニタ表示品質調整に関する特性情報と、を含むモニタ調整情報を収集し、データベースに蓄積するモニタ調整情報収集手段と、未調整モニタに対して、前記データベースに蓄積されたモニタ調整情報に基づき当該未調整モニタのモニタ型式及び使用時間に応じた前記特性情報を適用することによりモニタ

調整を行なうモニタ調整手段と、前記モニタについての使用時間情報を参照することにより、医用画像の表示に耐えるか否かを判定する判定手段と、を備えることを特徴とする輝度情報管理装置である。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】

本発明により、複数のモニタを有するモニタ管理システムにおいて、モニタのキャリブレーション作業の負担を軽減するとともに、経年変化に対応したモニタ調整を行なうことが可能なモニタ管理システム及び輝度情報管理装置を提供できる。